

1 目指す姿

4 鉄の持つ可能性

6 日本製鉄の挑戦

鉄の持つ
可能性

1

鉄はサステナブルな素材

鉄は資源が豊富で何度でも 何にでも生まれ変わる素材

鉄は資源が豊富で、安価で強く、扱いやすいといった様々な特性から、私たちの生活に欠かせない素材となっています。また、リサイクルしても品質があまり低下しない持続可能(サステナブル)な素材です。更に技術によって多様な特性が付加され進化し続けており、今後も無限の可能性を秘めた素材です。



詳細は
P.154「鉄の魅力」をご覧ください

鉄の持つ
可能性
2

鉄の成長ポテンシャル

新興国と高級鋼が世界の鋼材需要をけん引

鉄は、ビル・橋・自動車・家電製品等、様々な形で社会に蓄積され、インフラと豊かな暮らしを支えてきました。今後、新興国の経済成長や人口増加に伴い、世界の鉄鋼需要は更に高まっています。

また、気候変動をはじめとする社会課題の解決に向けて、素材の力で貢献する「高級鋼」は、先進国・新興国を問わず世界中でその重要性が高まっています。私たちは、鉄の持つ無限の可能性を引き出し、より持続可能な未来を支える素材としての価値を高めていきます。

詳細は

📖 P.19「鉄鋼市場における将来リスクと機会」
をご覧ください

日本製鉄の
挑戦
1

総合力世界No.1の鉄鋼メーカーへ

幅と厚みを持つ強靱な事業構造へ進化し「1億トン・1兆円」ビジョンを早期に実現

これまで当社は業界に先駆けて実行した生産設備の構造対策や紐付マージン改善と注文構成高度化・設備新鋭化により、国内製鉄事業を再構築し損益分岐点を抜本的に改善してきました。今後も国内製鉄事業はこうした方向性を維持しつつ、グループ全体としての効率化も合わせて実行し抜本的な競争力強化を図ります。海外では「需要の伸びが確実に期待できる地域」「当社の技術力・商品力を活かせる分野」において需要地での一貫生産能力の拡充を図り、グローバル粗鋼生産能力1億トンを早期に目指します。国内製鉄事業を要として、海外で横軸方向に幅を広げ、川上の原料・川下の流通を自らの事業とし縦軸方向に厚みを増すことで、より強靱な事業構造へと進化し、外部環境によらず安定的に実力ベース連結事業利益1兆円を確保できる収益構造の実現に挑戦します。

詳細は
P.21「1億トン・1兆円ビジョン」
をご覧ください

日本製鉄の
挑戦
2

カーボンニュートラル実現へ

世界の鉄鋼業界をリードしカーボンニュートラル社会を実現

当社は、石炭により還元を行うこれまでの鉄鋼生産プロセスを抜本的に変えることにより、2050年までに鉄鋼生産プロセスからのCO₂排出ネットゼロを実現します。

「大型電炉での高級鋼製造」「水素による還元鉄製造」「高炉水素還元」等の革新技術の開発を複線的に推進しており、当社研究所に新設した試験電炉・試験還元炉での実証試験で得られた技術を結集して、実機につなげていきます。

そして、鉄鋼業界におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた取り組みをけん引していきます。

(写真は試験シャフト炉操作室(手前)と試験シャフト炉(奥))



詳細は
P.36「カーボンニュートラルビジョン」
をご覧ください